



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

「三社祭」

矢野幸士会員

今後の卓話予定

8/29 ガバナー公式訪問

クラブ協議会



2012年8月22日

第1281回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男

前回 (8 / 8 1280 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 0名

◆ビジター 2名

東京上野R.C. 捧 永世様・丸山 進様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	2名	3名	37名	6名	86.05%	1278 例会修正 欠席 5名・出席率 88.89%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <原田会長>

- ・ 8月6日 広島原爆投下
- 8月9日 長崎原爆投下

九州大学副学長・吉岡齊氏の原子力の社会史（その日本的展開）が去年の10月に朝日新聞出版から出版されました。そこで、眼から鱗だった言葉。「原子力」

原子力という言い方は正確か？ 「原子力」は通俗用語。正しくは「核エネルギー」又は「原子核エネルギー」と言うべき。

これが、ミリタリー・ユース（軍事利用）とシビル・ユース（民事利用）に分かれる。それ

を一般的な「原子力」と言う言葉にしてしまうと、その平和利用や電力供給ばかりに眼が追いやられ「核が、軍事にも民事にも双方に利用可能であると言うデュアリティ」が見えにくくなって、本当は用語としては不適切だそうです。日本ではアイゼンハワーの「アトムズ・フォー・ピース」（平和のための原子力）演説をきっかけに中曽根・正力の「原子力平和利用」を名目とする政策、が展開していったため、この用語を使わないでは戦後の核問題と社会の関係が浮き上がらなくなった。そこで敢えて「原子力の社会史」と言う表題が選ばれたそうである。

幹事報告<宮村幹事>

- ・東京早稲田R.C.より事務局移転のお知らせが来ております。事務所にてご確認下さい。
- ・第2回理事役員会議事録を報告致します。週報に記載致します。

委員会報告

<S.A.A. 藤掛委員長>

- ・首都圏直下型地震に対する情報提供と地震対策の啓蒙に関するシンポジウムについて先般、向島ロータリークラブより職業奉仕の一環として、家族、社員、地域に首都直下型地震等に対する情報を地震対策の啓蒙を図ることを目的としたシンポジウムの提案がありました。今危惧される、首都直下型地震について専門家から被害の想定、主に企業のリスクマネジメント（防災対策等）について台東区、江東区、墨田区の6つのクラブ（東京浅草RC、東京浅草中央RC、東京東RC、東京江東RC、東京ベイRC、東京城東RC）共催の基に開催したいとの事です。昨日、東陽町のイースト21の江東RCの事務所にてその趣旨説明があり、宮村幹事と共に出席致しました。まだ、全くの机上プランで、開催方法も合同例会形式にするとか、共催ではなく向島RCが主催し、そこにメーカーの形で参加するとか、いろいろな案が出ました。また、開催時期も来年3月との案が出てましたが、これも未定です。わがクラブと致しましてはどのようなプランが最適なのかを理事会に諮ることと致しました。次回の会合に各クラブからの意見を摺り合わせ具体化してゆくとの事です。
- ・被災地復興支援メニュー第2弾をお届けいたします。先ほど葉坂料理長さんからご説明がありました通り本日は、岩手、福島、宮城の食材を使用しました中華です。

- ・さいたまユネスコ協会では書き損じハガキを集めてネパールの奨学支援の協力要請がありました。回収箱が事務所に置いてありますので、ご協力下さい。
- ・8月15日は休会です。

仕入の関係から前回のような、龍泉洞の水、阿部孝商店アベ鳥等具体的な商品名やお店の名前は出ませんが、皆様がトマト・葱・ニラなどお買い求めの際は、このメニューを思い出していただき是非、東北の食材をお買いいただければと思います。被災地の物産をお買いいただき、消費する。これこそ復興支援です。この小さな取り組みを積み重ね東北の復興につなげてゆきたいと思います。

<親睦活動委員会 高木委員長>

- ・夜間例会のご案内です。9月19日(水)6時30分より「ロイヤルパーク汐留タワー」にて開催いたします。汐留の夜景を観ながらのフレンチ料理です。奥様ご同伴のうえ、ご参加ください。

<職業奉仕委員会 上原委員長>

- ・現在33名の会員の皆さんに原稿をいただきました。ありがとうございます。以下は未だ未提出の方へお盆休みに入るので岩戸さんに手伝っていただき製本に向けそろそろまとめの作業に入ります。次回例会の8月10日を原稿の最終締め切りといたします。それまでに提出のない方は、2004年次の「私の職業Ⅱ」の原稿を使いたいと思います。ただし、次の2人の方はⅡに原稿がありませんので（2004年夏以降の入会）必ず原稿の提出をお願いいたします。2名の方：加藤・馬場の各氏です。できればもれなく全員の職業を乗せたいと思うのでよろしくお願い致します。何かありましたら上原まで連絡ください。

2012年～2013年度 第2回理事・役員会報告

<審議事項>

1. 7月度会計報告
…………… 会計欠席の為来月報告
2. 2011年～2012年決算報告
海内前会長より報告…………… 承認
3. 葛飾東RC合同例会の件
葛飾東 RC とすり合わせ、実行段階で双方の親睦・SAA で打ち合わせ実施。
4. その他
(1)会員名簿を作成する。今回はあいうえお順にて作成
(2)古谷氏より休会届けをメールで得る。

<協議事項>

1. ガバナー公式訪問について
…………… 次回例会にて詳細発表。
2. 9月19日夜間例会について
……………ロイヤルパークホテル汐留にて開催決定。
3. 1300回記念例会について
東京スカイツリー入場70名で予約済み。
詳細は長沼委員長の下、親睦・SAA で詰める。
4. 11月14日IM テーマ「我がクラブ自慢」
…………… 発表者会長一任。

<報告事項>

1. 仮称「首都圏直下型地震研究フォーラム」の件
8月7日の説明会に藤掛、宮村両氏出席。

ニコニコボックス

<東京上野R.C. 捧^{ささげ} 永世様>

・久しぶりに、メーキャップさせて頂きました。

<原田会長、宮村幹事>

・岩戸さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<山尾、永井、太田、藤掛、関原、小池、渡辺、中村、井田、松崎、大塚>

・岩戸さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<山尾>

・捧さん、ようこそ。大会中に頂いた上野RCの皆様、特に捧さんからのご厚情は忘れません。今後共、宜しくお願ひ致します。

<高木、太田、加藤、浜中、上原、伊石、宮村、長沼、田村、潮田、中村>

・天笠さん、お陰様で大洗ゴルフクラブでのゴルフ例会、無事に終了いたしました。カツオも天気も最高でした。ありがとうございました。

<上野>

・須藤元会員からのメールを代理でニコニコさせていただきます。以前ロータリーで2回卓話していただいた須藤君の父上が8月11日朝日新聞夕刊の「昭和史再訪シベリア抑留」に写真付きで「証言」掲載されます。

<小林(雅)>

・恒例、夏の大洗ゴルフ例会、暑さに負けずに優勝しました。パートナーの中村さん、田村さん、高木さん、有難うございました。

<吉田、斎藤>

・オリンピック終盤戦、頑張れニッポン!!
日本選手の熱い闘いに拍手!!

<園部>

・出席100%表彰ありがとうございます。

<太田、松崎>

・東日本大震災
頑張ろう 東日本!
立ち上がれ 日本!!

「心のバリアフリーを目指しての第一歩」



前年度社会奉仕委員長

岩 戸 正 一 会 員

2003年、全員で「車椅子」による実態調査をし、バリアフリーマップを作成。行政、観光連盟等に配布し啓蒙活動を展開した。

この約10年、啓蒙活動の結果を見続けていると、雷門周辺をはじめとして、国際通り、浅草通り等主だった通りの歩道は整備され、改修等で歩道と車道との段差はほぼ解消されてきた。公衆トイレや各種の設備も設置され、ハード面からのバリアフリーは啓蒙活動を起因として大幅に改良されて来ている。

他方、以前にはなかった自転車問題(駐輪・走行)、歩道上のはみ出し展示・陳列、歩道上の私的植栽など等の諸問題を解決しなければ「真のバリアフリー、即ち心のバリアフリー」は実現されない。海内会長は「心のバリアフリー」の実現を目指して、日頃は意識を持って余り関心を抱かないであろう事を体感しようと、再度「車椅子」を走行させての実態調査をし、結果を踏まえた「提言書」を纏める事とした。

2011年8月31日(水)、午後4コースに分かれての調査。

今回は目で見た実態を写真に撮り保存する。

目で見て感じたままを記録する

以上の事から実情を把握した「現状報告提言書」を作成する。

解決に向けて、先ずは何から手をつけるべきか？

*最近特に目立つのは、違法駐輪もさることながら歩行者優先が当たり前の歩道上での自転車(特にママチャリ)走り方と車道を走行時の逆走。

*一時代前の日本人なら何の問題も無いのに。

問題を解決するのは簡単である。

*個々が自己中心ではなく、譲り合いの心を持って、ルールとマナーを守れば問題は全て即座に解決する。

「心のバリアフリーへの第一歩は、明治・大正・昭和と祖父母から父母そして孫と伝えられてきた日本人の本来の姿を改めて考えてみる事ではないだろうか」